



基本目標 1 **健幸のまち・地域共生社会を形成する**
 —安心して幸せに暮らせる健康長寿社会を形成するための戦略—

■数値目標

指標	単位	基準値	実績値					目標値	指標の説明
		R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	
健康の維持増進の取組をしている市民の割合	(%)	91.0 (H30)	-	-	91.5	-	93.3	92.0	市民意向調査「特にない」・「回答なし」を除いた人
75歳以上の要介護3～5の認定率	(%)	7.5 (R2.9末時点)	7.8	7.9	7.4	7.5	7.6	7.6%以下	75歳以上で要介護3～5に認定された人の割合
市民同士の助け合いによる地域福祉活動に満足している市民の割合	(%)	81.0 (H30)	-	-	-	84.4	-	85.0	市民意向調査

■KPI(重要業績評価指標)

・展開方針1-1:健康づくり推進による健康寿命の延伸

指標	単位	基準値	実績値					目標値	指標の説明
		R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	
ウォーキング・ジョギングなど軽い運動を定期的に行っている市民の割合	(%)	27.6 (H30)	-	-	33.7	-	32.8	29.0	市民意向調査 市民アンケート
がん検診を受診している市民の割合	(%)	28.6 (R2)	-	-	30.1	-	31.8	37.0	市民アンケート
市民1人当たりの都市公園面積	(㎡/人)	1.09 (R2)	1.09	1.08	1.08	1.08	1.08	1.63	都市公園面積÷国勢調査人口

・展開方針1-2:居場所づくりと地域福祉活動による地域共生社会の形成

指標	単位	基準値	実績値					目標値	指標の説明
		R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	
シルバーリハビリ体操指導士数(累計)	(人)	22	44	52	66	77	89	115	年度末養成研修を受講した人(累計)
高齢者交流サロン補助金交付団体数(累計)	(団体)	9	9	9	11	12	12	20	年度末交付団体数(累計)
高齢者見守り事業所登録数	(事業所)	26	28	30	30	30	30	40	年度末事業所登録数

具体的な取組	庁内評価・今後への課題や方向性など
別紙「第2期岩倉市まち・ひと・しごと創生総合戦略 基本目標実績まとめ」のとおり	<p>○庁内評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指標数値については未達成のものもあるが、「健幸のまち・地域共生社会を形成」の実現に向けた取組みについて着実に進めることができている。 <p>○今後への課題や方向性など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・五条川健幸ロードの更なる充実と延伸について検討していく。 ・居場所づくりにおいて、民間活力の更なる活用を検討していく。 ・ヤングケアラーのような新たに顕在化する課題への対応の充実を図る。
	市民評価
	<p>公園の充実や維持管理は評価できる。一方で、五条川健幸ロードの西側住民へのアクセス性向上や、市民がこぞって集える代表的な公園の整備、さらに岩倉団地における高齢者の外出支援と民生委員の活動体制強化には課題があるため、これらを着実に進めていくことを期待する。</p>
	コメント
	<p>■五条川健幸ロードの活用性向上について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウォーキングやジョギングで活用されている市民が多いものの、市の西側に住む市民からは身近ではないと感じる点に課題がある。 ・市のメイン施策であるならば、西側に住む市民にとっても活用しやすい仕組みができることを期待する。一時的にでも駐車できる場所を設け、そこに車を停めて散策できるような工夫をしていくことを期待する。 <p>■公園整備・活用について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西側の公園（大矢公園、中央公園等）は充実しており、史跡公園ではラジオ体操が行われるなど地域での活用がなされていることはできている。 ・小規模ながら公園が多く、草取りなどの整備は行き届いているように感じられる。 ・市民がこぞって集まれる代表的な公園があると良いと考える。地域間での横の連携が増してくることを期待する。 ・市域が狭く、まとまった大きな公園をつくれなため面積が少なくなっている可能性がある。法に規定され

ている都市公園以外にも五条川など市民が利用できる公共の場はできている。

■岩倉団地における高齢者の外出支援と民生委員活動について

- ・岩倉団地の高層階に住む高齢者の外出控えについて懸念がある。
- ・民生委員の充足状況と、一人暮らしの人への対策に課題がある可能性があるため、確認していく必要がある。
- ・各区における民生委員の実情には格差があり、世帯数の差があるため人数に差が出てしまうことに課題がある。個人情報保護に配慮しつつ、民生委員でない者が部分的にでもサポートできるような制度を創出していくことを期待する。



基本目標2 子育て世代の移住・定住を促す

—人口減少を予防し、バランスのとれた人口構成を維持させていくための戦略—

■数値目標

指標	単位	基準値	実績値						目標値	指標の説明
		R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7		
ずっと住み続けたいと思っている市民の割合	(%)	72.4 (H30)	-	-	-	83.7	-	75.0	市民意向調査	
転入者数	(人)	2,146	2,137	2,108	2,082	2,083	2,058	2,180	愛知県統計年鑑「2-12市区町村別住民基本台帳に基づく日本人人口、人口動態及び世帯数」の転入者数の5か年平均	

■KPI(重要業績評価指標)

・展開方針 2-1: 転出防止等の受け皿としての住宅市街地の整備と街なか居住の推進

指標	単位	基準値	実績値						目標値	指標の説明
		R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7		
市街化区域率	(%)	50.7	50.7	50.7	50.7	50.7	50.7	52.1	市街化区域面積÷市の面積	
空き家率	(%)	10.0	-	-	-	9.6	-	10.0%以下	住宅・土地統計調査	

・展開方針 2-2 : 若い世代が「住んでみたい、住み続けたい」と思える総合政策の推進

指標	単位	基準値	実績値						目標値	指標の説明
		R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7		
幼い子どもを育てる所として“良い”と思う市民の割合	(%)	30.8 (H30)	-	-	-	28.6	-	38.0	市民意向調査	
待機児童数(保育園)	(人)	0	3	2	0	0	6	0	各年度の4月1日時点の待機児童数	
小中学校の教育活動が充実していると感じている市民の割合	(%)	81.8 (H30)	-	-	-	84.2	-	85.0	市民意向調査	

具体的な取組	庁内評価・今後への課題や方向性など
別紙「第2期岩倉市まち・ひと・しごと創生総合戦略 基本目標実績まとめ」のとおり	<p>○庁内評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指標数値については未達成のものもあるが、切れ目のない子育て支援策等を積極的に実施し「子育て世代の移住・定住を促す」の実現に向けて着実に進捗を図ることができている。 <p>○今後への課題や方向性など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅東地区における住宅については民間による整備であり、行政としての促進はできていない。 ・子育て支援策は充実しているが、市外へ向けた発信をさらに強化し、子育て世代の移住・定住を加速させる工夫が必要になる。
	市民評価
	<p>子育て世代の移住・定住促進において、利便性の高いまちであることは評価できる。一方で、子育て・出産環境の更なる充実として、児童館やファミリー・サポート・センターの利用環境改善、産婦人科不足への対応、発達支援体制の強化に課題があるため、改善を期待する。また、持続可能なまちづくりに向けた市街化区域の見直しと空き家対策も進めていく必要がある。</p>
	コメント
	<p>■児童館の利用促進とファミリー・サポート・センターの利用料について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童館について、幼児は保護者がいないと利用できない点に課題がある。姉と弟のような兄弟でも利用できるようになることを期待する。 ・国を含め行政側が「子どもを産んでほしい」と言うが、環境がまだ十分ではないと感じる。少額でもよいので、お母さんが安心して岩倉市で働ける場所があると安心して子どもを産むことができると考える。 ・ファミリー・サポート・センターは利用料が高いと感じる点に課題がある。子どもがいて働けない人も預けたいが、利用料が高いと結局無理してでも自分で子どもの世話をすることになってしまうため、無償とはいかないと思うが、アンケートなどで利用しやすい料金設定を検討していくことを期待する。 ・児童館、みどりの家、くすのきの家については子どもが集合場所等にしており、利用しやすいことはできている。ただし、市民団体でないと使えないと言われたり、利用目的を聞かれることもあったりするので、親が使いたいときに使えないことがある点に課題がある。せっかくなので活用できるようにしていくことを期待する。

■子育て・出産環境の充実について

・産婦人科が1つしかないのも子どもを産む際に不安がある。助産院も岩倉市にはないと思うが、増える見込みがあるのか確認していく必要がある。

■発達支援体制について

・保育園、幼稚園の子に対しての発達支援について気になる。一宮市の児童発達支援センターは利用待ちがあるような状況であり、ニーズが高いと考えられるため、岩倉市ではどのような制度があるのか確認していく必要がある。

■市街化区域の拡大と空き家対策について：

・市街化区域の拡大については、人口減少社会において住宅地（インフラ）が増えてしまい、サステナブルではないと感じるため、今後は縮小していくことを期待する。

・空き家が問題になっているため、空き家を建て替えていけるような制度を創出していく必要がある。

・「できなかったこと」として市街化区域の拡大との記載があるが、方針を見直す時期に来ているかもしれないと考える。



基本目標3 **都市の活力・にぎわいと関係人口を創出する**
 —経済的な豊かさとまちのにぎわいを将来にわたって創出するための戦略—

■数値目標

指標	単位	基準値	実績値					目標値	指標の説明
		R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	
市内事業所数	(事業所)	1,652 (H28)	-	-	-	1,602 (R3)	-	1,675	経済センサス活動調査
市内事業所における従業者数	(人)	16,371 (H28)	-	-	-	15,703 (R3)	-	17,200	経済センサス活動調査
岩倉駅周辺のにぎわいがあると思う市民の割合	(%)	17.9 (R2)	-	-	14.8	-	16.9	23.0	市民アンケート

■KPI(重要業績評価指標)

・展開方針3-1：中小企業・小規模企業の振興と創業・事業承継支援等の推進

指標	単位	基準値	実績値					目標値	指標の説明
		R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	
ビジネスサポートセンター利用件数	(件)	269	392	297	418	287	275	300	当該年度利用件数
新商品開発補助件数	(件)	-	-	-	12	11	8	15	がんばる中小企業等応援補助金の新商品開発メニュー(主要施策の成果報告書より)

・展開方針3-2：新たな企業の誘致と交流・関係人口創出のためのインフラの整備

指標	単位	基準値	実績値					目標値	指標の説明
		R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	
創業相談件数	(件)	15	10	10	18	20	19	20	当該年度相談件数
企業立地奨励措置認定企業数(計画期間累計)	(社)	-	4	1	7	8	8	3	当該年度末認定企業数

具体的な取組	庁内評価・今後への課題や方向性など
別紙「第2期岩倉市まち・ひと・しごと創生総合戦略 基本目標実績まとめ」のとおり	<p>○庁内評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指標数値については未達成のものもあるが、企業誘致や、ビジネスサポートセンターを中心とした中小企業等への伴走型支援、公民連携による課題解決等により「都市の活力・にぎわいと関係人口を創出する」の実現に向けた取組みについて着実に進めることができている。 <p>○今後への課題や方向性など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「兼業・副業やテレワークの促進とそのための社会基盤整備」や「プロボノや兼業・副業人材などとのパートナーシップによって解決していく関係人口づくり」については具体的な取り組みを行うことができおらず、にぎわい創出にどのようにつなげていくかが課題である。 ・今後のスマート IC の整備も見据えた施策展開を検討する必要がある。
	市民評価
	<p>「わくワークいわくら」の発行や、関係人口増加に向けた明確なターゲット設定が進められていることは評価する。一方で、より実践的な仕事体験機会の充実には課題があり、今後検討していく必要がある。</p>
	コメント
<p>■「わくワークいわくら」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者としても良い事業だと思われ、子どもにとっては目に見えるものしか意識しないため、岩倉市でも様々な仕事があり、社会を支えているということを意識づけることはできている。 ・「のんびり洗い」を体験する機会はあるが、仕事として体験する機会がない点に課題がある。ふれ愛まつの産業コーナーや小牧産業フェスタの経験から、そういった仕事を体験する機会や仕事を知る機会をもっと増えることを期待する。 <p>■関係人口の増加について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係人口の増加を図っていくと記載があるが、この部分に関しては外から持ってくるという意味でターゲットを絞ることができており、よい方向性である。 	



基本目標 4 安全な暮らしと強くしなやかで持続可能な社会を実現する

—市民の安全確保と次世代に配慮した都市経営戦略—

■数値目標

指標	単位	基準値	実績値						目標値	指標の説明
		R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7		
地震や浸水などの防災対策に満足している市民の割合	(%)	74.7 (H30)	-	-	-	82.2	-	77.0	市民意向調査	
犯罪発生件数	(件)	365	270	247	269	318	325	365 件以下	愛知県警が公表する市内で発生した年間犯罪件数	
地球環境のための取組をしている市民の割合	(%)	95.5 (H30)	-	-	97.9	-	97.8	96.5	市民意向調査 市民アンケート	

■KPI(重要業績評価指標)

・展開方針 4-1：地域コミュニティと協働による防災・防犯の強化

指標	単位	基準値	実績値						目標値	指標の説明
		R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7		
個別避難支援計画の作成数	(件)	170	152	156	148	126	137	350	自主防災組織作成(災害時における避難行動要支援者支援)(年度末総数)	
防犯パトロールなどの取組の支援や防犯対策に対して満足している市民の割合	(%)	76.4 (H30)	-	-	-	80.4	-	78.5	市民意向調査	
下水道(雨水)整備計画に基づく雨水調整池整備進捗率	(%)	20.3	31.1	31.1	31.1	31.1	44.1	44.1	年度末対策済貯留量÷市下水道対策貯留量	

・展開方針 4-2：次世代に負荷をかけない公共資産マネジメントと環境政策の推進

指標	単位	基準値	実績値						目標値	指標の説明
		R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7		
公園等の整備・管理に満足している市民の割合	(%)	75.7 (H30)	-	-	-	79.1	-	78.0	市民意向調査	
市民1人当たりのごみ排出量	(g/日)	448	455	446	435	416	405	436	(「燃やすごみ」と「破碎ごみ」の年間収集量)÷年度末総人口÷365日	
計画的・効率的な行政経営が行われていると思う市民の割合	(%)	18.3 (R2)	-	-	22.2	-	21.4	26.0	市民アンケート	

具体的な取組	庁内評価・今後への課題や方向性など
別紙「第2期岩倉市まち・ひと・しごと創生総合戦略 基本目標実績まとめ」のとおり	<p>○庁内評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指標数値については未達成のものもあるが、ゼロカーボンシティの実現に向けた取り組み、地域と連携した防災・防犯対策、未来寄合等での地域力活性化の取り組み、公共施設再配置計画等の推進により「安全な暮らしと強くしなやかで持続可能な社会を実現する」の実現に向けて着実に進めることができている。 <p>○今後への課題や方向性など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の安全安心の実現のためには、地域人材の育成をより積極的に進める必要がある。 ・ごみ減量については、そもそもごみを出さない「ごみウェイスト」の視点も加えていく。
	市民評価
	<p>行政区加入率の低下、防災訓練の情報周知に課題があるため、改善を期待する。スマート IC については、整備後の地域の活性化が重要となるため、どのような計画が進められていくのか期待する。</p>
	コメント
<p>■行政区加入率の低下傾向と情報提供について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政区加入率が低下傾向にあることについて懸念があるため、加入促進に向けた対策や情報提供のあり方を検討していくことを期待する。 <p>■総合防災訓練に関する情報公開について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合防災訓練の開催情報について、一部市民への周知が十分ではない可能性が指摘されているため、よりきめ細やかな周知を図っていくことを期待する。 ・消防団等のなり手不足も関連した課題としてある。 <p>■スマート IC 周辺のまちづくりについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スマート IC は整備が目的ではなく、整備後の地域の活性化が重要となるため、今後どのような計画が進められていくのか期待する。 	